



市民まちづくり推進室

公共施設とまちなかチェックの様子

## 男女共同参画 基本計画策定事業

市民の皆さんがいきいきと生活できる  
「男女共同参画社会」の実現のために

### ■活動内容と今後の予定

H 13

4月 男女共同参画  
推進懇話会発足

H 14

5月 公共施設とまちなかチェック  
公設民営公民館視察

9月 最終答申書を提出

H 15

3月 男女共同参画基本計画策定

4月～ 同 推進

※そのほか会議を16回、ヒヤリング7回、自主勉強会2回開催

男性・女性、高齢者・若者、大人・子どもといった枠にはめられることなく、一人の人間として尊重され、いきいきと生活できる「男女共同参画社会」の実現はとても重要です。

市では、そんな社会を実現するための計画策定に向け、平成13年4月に公募市民の委員を含む13人で構成される「男女共同参画推進懇話会」（古川芳子会長）を発足しました。

懇話会は、男女共同参画基本計画策定のため、これまでに延べ16回の会議、7回のヒヤリング、2回の自主勉強会などを実施し、9月30日には市に対し、協議内容をまとめた答申書（注）を提出しました。

今後、懇話会では、平成15年3月までに策定する「男女共同参画基本計画」の進捗状況を把握しつつ、男女共同参画社会の実現に向けて、改善などを提言していきます。

### 参加者 談



白木利子さん  
(下米田町)

#### ■積極的な市民参画を

農業を営む立場から、男女共同参画について考えようと思ってきました。

はじめは、男女共同参画社会とは、単に男女の扱いが平等な社会としか考えていませんでしたが、懇話会が進むにつれて、そんなに単純なものではなく、一人の人間として尊重される社会であることに気づかされました。

市に出した答申書は、懇話会で何回も会議を重ね、男女共同参画基本計画策定のために意見をまとめたものなので、少しでも計画に反映されればよいと思います。

行政で「計画」をたてたりする場合、今までは行政にまかせっきりでしたが、この懇話会のように計画段階から住民が参加できることは大変良いことだと思います。ただ、せっかくこのように行政に参加できるチャンスがあるのに、積極的に参加する市民の人が少ないのは残念です。

多くの人の考えを行政に取り入れることで、美濃加茂市がより住みよい「まち」になっていくと思います。そのためにも、多くの人たちに積極的な市民参画をしてほしいですね。

(注) 答申書の内容は市ホームページの市民まちづくり推進室男女共同参画係内に掲載しています。

<http://www.city.minokamo.gifu.jp/home/sosiki/machi/danjo/kihonkeikaku.htm>